

わーど

年2回
6月・11月
発行

第54号
2019.11.1

ふれあい交流 “いなみ野の里”



8/11 (日)	8/10 (土)	8/9 (金)	8/8 (木)	8/7 (水)	8/6 (火)	8/5 (月)	8/4 (日)
お別れ会	フリータイム	フリータイム	PM 高校交流 AM 老人クラブ交流	稲美町めぐり	お料理教室	PM 中学校交流 AM 小学校交流	AM 歓迎会

留学生12名でスタートしましたが、体調不良のため1名が寮に帰り11名となりました。

ふれあい歓迎会



今日から
よろしく
お願いします



恒例〇xわーどクイズ



優勝しました!!



日本語講師支援事業

日本語講師支援事業の一環で6月に現在稲美町内で日本語講師として活動して下さっている先生方と意見交換会を行いました。その後、先生方と9月には現在の日本語教育の現場で使用されているテキストや現場の声を聴きたく、HIAの見学会も企画し今後の日本語教育へ生かされる充実した時間を過ごすことができました。

8月にはいなみ野学園さん主催による、日本語ボランティア講師養成講座が開講されました。多数の申込みがあり近隣の市町村から、日本語を教えるボランティア活動をしたいという方が沢山おられることが分かりました。とてもうれしいことです。今後の活躍に期待しています。



HIA見学のようす



「人権わくわくスクール」 (稲美町教育委員会)

9月8日(日)いきがい創造センター多目的ホールにてナイフ兼寛氏をお迎えして、シリアの国の紹介とアラビア語で自分の名前を書いて、シリアの世界遺産などのシールを貼った世界に一つだけのオリジナルしおりを作りました。小学生からもたくさん質問が出たり、活気あるイベントになりました。

2019 こども国際ナショナルキャンプ

10月6日に播磨町・高砂市・稲美町の国際交流主催で子供向けのデイキャンプを行いました。英語でゲームをしたり、みんなでご飯を作ったり、アスレチックで遊んだり初めましての子どもたち同士で協力している企画に挑戦していました。

当日は小学生63名、外国人の先生9名、大学生ボランティア9名、高校生ボランティア5名が参加し、秋のおだやかな日差しの下で楽しい一日を過ごしました。ボランティアにご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。



平成31年度 ご協力いただいている 団体・法人会員様 (順不同)

松田測量登記事務所
デリカフーズ(株)
三美塗装工業(株)
キング醸造(株)
医療法人社団 奉志会
上野鋼業(株)
柘本建築設計事務所
六甲バター(株)稲美工場
印南養鶏農業協同組合
(株)稲美乳販
広田鉄工(株)
(株)コカジ技研
いなみマイマイ工房
NOBBY FARM

稲美町老人クラブ連合会
天理教加古大教会
赤松機器工業(株)
インドパルダイニングビルジ
(株)アシス
(株)マルオ洋品店
兵庫南農業協同組合 天満支店
イナミスポーツ
(有)コレクト
植田住地(株)
山本電機
クラウン商事(株)
稲美苑
明光印刷(株)

今年度も引き続いて、ご支援ご協力賜ります様
よろしくお願い致します。

☆今後のイベント予告☆

11月30日(土) 第4回世界のワイン講座

2020年 外国料理教室

2020年 神戸大学留学生の講演会

～申込みなどは広報で随時お知らせいたします～

編集後記

今年もいなみ野の里ホームステイ事業を無事に終えることができました。これもひとえに各方面の皆様のご協力あってのことと、心より感謝申し上げます。今後も様々なイベントを企画して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

【わーどクイズの答え】② 左側

※紙面の関係上、文章を少し省略させて頂いております

柴田ファミリー

ナマステ

インドから多才で楽しいサビオアさんが我が家に来ました。折り紙、インドの手料理、家で子供たちとプール、それから風神雷神、妖怪や彼の専攻の量子化学（私たちが理系夫婦にとっては興味深い）、炎色反応、元素（長男の自由研究内容）などの話・・・彼が描いてくれたルフィーの絵は、次男が宝物にしています。楽しかった8日間、2歳の三男の言葉とサビオアさんの日本語、そして長男の英語がそれぞれ少しずつレベルアップしました。

フリータイムなどに、息子の剣道教室の見学、福岡町の河童、姫路城、加古大池の花火を見に行きました。本屋では日本語や物理、化学の問題集を買い、家でたまに勉強していた様です。彼のノートに漢字がたくさん丁寧に書いてあり、すごいなあと思いました。息子たちにも見習ってほしいと思います。

「日本はきれいで、みな親切だ。」とサビオアさんは言っていました。使ったお皿などは毎回洗ってくれ、助かりました。4月に来日し、今は次の大学を目指して勉強中です。夢に向かって頑張っている彼の姿は、私たち一家にとって刺激になりました。吉報を待ちながら応援しています。



サビオア(インド)

田舎での滞在

ホームステイプログラムは楽しかったです。日本に来て勉強するだけだと思っていたがこの8日間で日本の文化について多くを学びました。私は柴田家の家族のように本当にかんげいされました。毎日いっしょに食事をし、インドと日本について話しました。

老人クラブのおじいさんとおばあさんたちと過ごす時間は私の最高の経験の一つであり、かれからも多くのことを学びました。かれらの時代のゲームは、今のスマートフォンのゲームよりもずっと楽しかったと心から信じています。

このプログラムは夏休みの勉強とは別の時間を過ごすのは最適な方法でした。稲美町のみなさんに本当にかんしゃしています。

ターニャ(ウクライナ)

私のホームステイプログラム

私は稲美町で楽しい8日をすごしました。私が訪れたところはすごかったです。稲美町国際交流協会が私たちを温かく歓迎しました。私は素敵な親切な家族に住んでいました。一人子として3人の子供と一緒に住むのはいい経験になります。小学校に行くことは私を感動させました。紹介したゲームは子供だけでなく大人も気に入ります。中学校の機構の説明にも興味があります。流しそうめんとスイカ割りもとても楽しかったです。ヘルスクラブのおかげでおいしい料理をして、折り紙の独楽を作りました。お寺への旅行と瞑想は本当に落ち着きを上げました。アルコールがあまり好きではありませんが、さけとみりんがどのように生産されるかを知ることは役に立つと思います。

終わりに私の家族に感謝の気持ちを伝えたいです。この8日間ずっと世話をしてくれて本当にどうもありがとうございます。この8日間は永遠に私の記憶に残ります。



ホームステイを終えて

今年はウクライナのターニャが我が家に来てくれました。ターニャは英語も日本語も上手で子ども達にも優しく接してくれました。家で過ごしている時は熱心に提出する感想文を書いたり、お手伝いを積極的にしてくれたり、子どもにも英語の絵本を読んでもらったり、ウクライナのゲームを教えてくださいました。

お好み焼きをした時は作っているところをはじめ見たようで、「すごいっ!」と言って喜んでました。もちろん彼女にひっくり返してもらいました。フリータイムはお寺好きな彼女のクエストで法華山一乗寺へ。暑い中長い階段をのぼりましたがお寺を楽しんでました。

その夜、加古大池花火大会へ。スマホで綺麗に写真が撮れると嬉しそうにしていました。ウクライナの事も沢山教えてもらいました。有名な料理はボルシチだそうです。ターニャが我が家に来てくれて、大切な思い出が出来ました。夢に向かって頑張ってほしいなと思います。

赤松ファミリー

また 会いましょう

今回で三度目のホストファミリー、今年はアゼルバイジャンから来たシラジュを迎えました。まず、アゼルバイジャンはどこにあるのか、どんな国なのかと調べるところから始まりました。歓迎会で初めて会った時、爽やかな笑顔で理知的な青年という印象でした。イスラム教を信仰している国だそうですが、彼は日本の文化や生活に合わせてくれました。日本料理では一番のお気に入り、すき焼きで、材料を一緒に買いに出かけたこともありました。家族へのお土産の抹茶などをかう時、店員さんにアゼルバイジャンという国を広めたことも楽しい思い出です。

夕食時には、毎日のように日本語、特に慣用語の話に花が咲きました。日本人よりよく知っていると感心することが多かったです。また、彼はプログラムの中で日本の学校に行き、とても綺麗でびっくりしたそうです。自分たちで掃除することや、上靴に履き替えることなど、日本では当たり前だと思うことも他の国から見るといいところであると彼の会話で知ることができました。現在のアゼルバイジャンは、日本の40年くらい前の感じと聞き、父親を中心に家族が成り立っていて、家族をとても大切にしているとも感じました。

フリーデイには、淡路島、鳴門のうず潮クルーズや伊弉諾神宮に行き、最終日には親戚も集まってバーベキューや花火大会と楽しい思い出がたくさんできました。また、留学生の大学の卒業式に同行できたのも貴重な経験でした。日本人とふれあう機会の少ない留学生にとって稲美町のホームステイ事業はとても貴重な歓迎されていると実感しました。

シラジュは四月から日本で就職が決まっているそうなので、みんなで応援しています。そして、また会える日を楽しみにしています。



シラジュ(アゼルバイジャン)

「いなみ野の里」に参加して

ホストファミリーと過ごした時間は言葉では表現できないくらい楽しかった。この気持ちはこの紙に出せない。

小学校の交流会に参加して、みんないろいろな準備もやってくれまして、とても面白かった。ゲームをしたり話をしたりして、最後に留学生が自分の国について紹介したら、耳を傾けて熱心に聞いて様々な質問をしてくれてとても感動しました。中学校では挨拶をしたのでちょっと緊張しました。新聞社のカメラマンとちょっとだけ話をして、次の日の新聞に僕との会話を載せてくれてとても喜びました。

ホストファミリーは私のことを自分の子供みたいに見てくれて、色々お世話になってくださりまして、とても喜びました。毎日お母さんは色々な日本の美味しい料理を作ってくれました。

慣用語と諺が好きなので、お父さんは会話をするときいっぱい昔の表現を使ってくださいました。娘さんたちも優しくていい友達になれたと思います。文化の違いとか言語の難しさがあるのに、皆さんは何でもやってくれてありがとうございます。皆、アゼルバイジャンに来てくれたら恩返しします。

小学生交流

母里小学校で子どもたちと日本の遊びを楽しみました。大縄、最初は入るタイミングが難しかったけれど、上手な留学生たちは連続八の字跳びの仲間入りをしていました。

会議室では「坊主めくり」や「福笑い」など用意してくれてゲームを楽しみました。大豆をお箸で掴んで早く移動させるゲーム、日本の生活の長い留学生はお箸も上手!!



知らない国のことを
知ることができてよかった
6年生 男子



外国人と話す機会が
あまりないので
とてもよい経験ができました
6年生 女子

中学生交流

留学生の
人たちが
流しそうめんを
楽しんでいる姿を
みてとても
うれしかった
3年生 女子



留学生の
みんなが
笑顔で話しかけて
きてくれて
自分も安心して
会話を楽しみ
ました
3年生 女子



高校生交流

日本の文化を体験しました。お茶やお琴、習字など...高校生の子どもたちが丁寧に教えてくれました。



もっと英語で会話
できるようになりたい
1年生 女子



日本文化も喜んでくれた
留学生の国のことも知れて
楽しかった
3年生 女子

老人会交流

扇子の絵付けを教わりました。日本のものを描いたり、自分の国のものを描いたり...みんな真剣に絵付けをしていました。とても素晴らしい作品ばかりでした。



日本語が上手で
感心しました。
みんないい子たちばかりでした。

あつという間の時間でした。
みなさんととても熱心で
ていねいに描いていましたし
良い作品ができて
うれしかったです。



料理教室・ヘルスの会

日本の簡単なお料理をみんなで
作っていただきました。

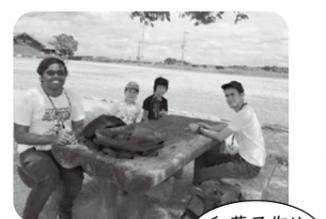
- 〈メニュー〉
◎梅ご飯
◎鮭のヨーグルト蒸し
◎ほうれん草のサラダ
◎ピーマンの焼きびたし
◎そうめん汁
◎和風ブラマンジェ

みんなおはしを使うのが
上手でびっくりしました



町めぐり

午前中は小学生も一緒に加古大池や高瀬寺、コスモホールの舞台裏を見学しました。午後からはキング醸造の工場見学。福助堂で和菓子作りにも挑戦しました！稲美町の見どころ沢山詰め込んだ1日になりました。



和菓子作り
楽しかったよ

マルティナ(ブルガリア)

ホームステイはいいに楽しかった

ホームステイに登録したとき、それほど楽しいと予想できなかった。プログラムの行事も、ホストファミリーと過ごした時間も本当に楽しかった。様々な経験を得て日本の文化や日常生活など、色々勉強になった。私の故郷は小さい街なので、稲美町に来た時まるで帰宅するように感じた。私は都会も好きだし田舎も好きなのだがっかりしなかった。スタッフもホストファミリーも優しく親切な人だった。お世話になった。心から感謝したい。また機会があれば、みんなと会いたい。ホームステイプログラムに参加できてうれしい。後輩にもおすすめしたいと思う。



船原ファミリー

夏の思い出

わたしは、りゅう学生のマルティナさんがくる前うれい気もちと楽しみな気もちがありました。どんな人がくるのかなと思ってわくわくしていました。そしてわたしは、ブルガリアのことを少しでも調べたいと思って図書館でブルガリアの本を2さつかりて調べました。りゅう学生のマルティナさんが来て楽しかったことは、水ぞくかんでイルカショーを見たことや花火大会で花火を見たことやおんたなに行ったことです。うれしかったことは、プレゼントをもらったことやごぶくやできものをきてよこんでたことです。マルティナさんが来て分かったことはブルガリアにはヨーグルトがゆうめいだけでなくパラヤダンスがゆうめいだと分かりました。マルティナさんはお手伝いをいっぱいしてくれるからやさしいと思いました。とおい国の全くちがう文化をもったブルガリアの人と生活することは、家ぞくみんなの見しき広がるともよいきかになりました。

船岡ファミリー

初めて男の子を迎えて

この夏で受け入れ7回目。大阪大学の留学生12人の中からインドのサルカル君が我が家に来てくれました。明るくてとても思いやりのある、靴を揃えたり布団をたたんだり日本文化を受け入れ様としてくれる頑張り屋さんでした。また彼は4月に日本に来たばかりとの事でしたが、日本語を積極的に話そうとする姿に関心しました。日に日に上達するのがわかりました！さすがです。時にはインドのカレーも作ってくれました。本当に美味しかったです。今回初めての男の子の受け入れに娘は最初緊張していましたが優しいお兄さんが出来て内心喜んでいました。主人も私も息子がいたらこんな感じかなと嬉しい日々を過ごさせて頂きました。今回も素晴らしい国際交流協会のホームステイプログラムに参加させて頂き世界の国々の人々について、今回は特にインドの文化や習慣、歴史などについて読んだり考えたり話したりする良い機会になりました。



サルカル(インド)

自分のたいけん

いなみちように来てよかったよ。一週かんのたしかった。いなみちようの人たちといっしょに日本の文化についてならってうれしかった。はじめにいなみちようはきれいとたくさんしぜんがあるから好きになった。いなみちようの人たちはとてもやさしいときれいとおもう。一週かんにたくさんおもしろいことをした。このぜんぶのたいけんのためありがとうございます。いなみちようの人たちとはなれてさびしくなります。私のかぞくもとてもやさしいときれいとおもう。このかぞくといっしょにたくさんおもしろいことをしてうれしかった。ほんとにありがとうございます。

ライアン(シンガポール)

稲美町ならではの魅力

私は今年の4月から日本に住んでいますが、今まで日本の方々や文化と密接なふれあい機会がありませんでした。しかし、「いなみ野の里」に参加することで、私は稲美町の若男女といろいろな交流が出来て、相手の異なっている文化や生活習慣を認め合って、相互理解を深めました。そして、町内の学校や老人会とのふれあい交流によって、私は日本の様々な伝統的な遊びや芸道を体験しました。私が「だるまさんが転んだ」を遊んだり琴を弾いたり手作りの扇子や団扇を作ってみたりして、日本の文化の豊かさをほんの少し味わって楽しかったです。料理教室に参加すること、キング醸造の工場を訪れること、福助堂で自分で菓子を作ることもとても面白くて、地元の企業や産物についてもっと知ることができました。またホームステイを通して、私が日本の生活習慣や日本の常識について理解を深めたことだけでなく、坂井家の皆様にはいろいろなご指導やおもてなしを受けて、本当にありがたいです。私の日本語はまだまだですが、みんないつも優しく、気が長くてなんでも説明して、相互理解ができるように頑張ってくれました。姫路城、書寫山、兵庫県立考古博物館、加古大池花火大会などに行っている学んで良かったです。それに盆踊りの練習に行って子供と大人らが楽しげに話したり遊んだりする様子が印象的です。稲美町は小さな町と言っても、地元の人々の笑顔と親密さを見るとこの町が結びつきが強い、絆が深いと感じていました。この8日間のホームステイで坂井家の皆様には終始一貫大変お世話になりました。家族の一員として扱ってくれて幸いです。この8日間は短い稲美町の魅力、すなわち住民の親切心やおもてなし、ここでのいい思い出をきつと覚えていきます。



坂井ファミリー

シンガポールから来たライアン君

今年はシンガポールからの留学生、ライアン君が我が家に来てくれました。スラリとした長身の青年です。初対面からすぐに打ち解け、親しく話すことができました。シンガポールは1963年にイギリスから独立し、8月9日が56回目の独立記念日を迎えたまだ若い国ですが、世界でも有数の先進国です。高校卒業後、2年間の兵役を済ませて日本にやってきました。シンガポールで話される英語はシングリッシュ、人口は約600万人、国土は淡路島より少し大きいくらい等、たくさんのお話を教えてもらいました。肉じゃがと一緒に作ったりお好み焼きを焼いたり、何でも「おいしい、おいしい。」と言って食べ、交流行事は楽しかったと疲れも見せません。夜には地域の盆踊りの練習に行き、小学生とたくさんおしゃべりして次の日も参加すると約束し、そろばんを教えたことも楽しそうでした。姫路城や書寫山に出かけ、県立考古博物館では勾玉を作り兵庫の歴史に触れ、花火大会にも行き、あつという間の8日間でした。誰とでもすぐに打ち解け話ができる、何でも食べられるという特技を生かせば、彼のこれからの留学生活もきっと楽しいものになるに違いありません。ずっと応援していきたいと思っています。

植田ファミリー

楽しかったホームステイ

料理が得意ということで、彼女はベジタリアンのため、インドの家庭料理を色々な野菜とスパイスを使っておいしく作ってくれました。家族皆はじめての料理でした。フリータイムは、孫たちとトランプ、百人一首、ゲームなどをいっしょにしたり、花火大会に行きました。それから、淡路島へ絶景を見ながらドライブを楽しみました。回を重ねるごとに孫たちも慣れてきて本当の家族のように仲良くなり楽しんでいました。孫たちの成長ぶりを見て本当にうれしく思いました。グンちゃんが来てくれたおかげで、家族皆が集まりにぎやかに楽しく過ごすことが出来ました。本当にありがとう。目標に向かって頑張ってください。応援しています。機会があれば、また来てね！



ゲン(インド)

私の日本の家族

稲美町は名前の通りに、とてもきれいな街でひとやさしいです。1週間のホームステイは慣れはじめたかと思ったらあつという間に終わってしまいました。私はもう家族の一員になっています。小学生と中学生とのふれあひもとても楽しくて、学校についていろいろ教えてもらいました。日本に来てからはじめて学生と話す機会でした。流しそうめん、ふくわらい、おりがみなどによって、楽しむことと日本の文化について知ることが出来ました。外国人に稲美町での素晴らしいホームステイプログラムが出来る機会を与えてくれてありがたいです。また機会があつたら稲美町へ来たいです。

ニーナー(エジプト)

新しい家族と友だち

稲美町へきて日本人の家族と一緒に8日間をすごして幸せでした。楽しくて役に立つ生活があつたから、日本について学ばれました。高園寺と稲美町の自然はとても美しいと思いましたが稲美町には豊かな自然と文化の両方があります。高校のイベントでは日本の音楽と書道に興味を持ちました。日本家族と一緒にエジプトと日本の習慣と文化の違いを学びました。時間がたつにつれて、私はいま日本に家族がいると思ったし稲美町の人々は私の友達です。いつも稲美町を訪れようと思います。稲美町の皆様、ほんとうにありがとうございました。



竹元ファミリー

エジプトからの男の子

今年の夏、エジプト人の男の子、ニーナーが我が家に来ました。日本語を勉強中なので、日本語について色々質問をしてきたのですが、普段何気なく使っていることを、分かってもらえるように説明することの難しさや、間違っって教えそうになったりして、正しい日本語を意識しなければいけない、と反省する機会になりました。ニーナーはイスラム教徒なので食べ物に心配だったので、豚肉とアルコールがダメな以外は何でも食べてくれたので良かったです。ただ、お酒を飲めないことは意識していたのですが、1回だけ料理にみりんを無意識で使っしまい、ニーナーも知らずに食べてしまったのが申し訳なかったです。お酒やみりんの瓶を持つこともできないと後で知って、宗教の厳しさに驚きました。イスラム教ではお祈りを一日5回するのですが、お祈り前に手足を清めるために洗面所やトイレの手洗い場で洗うため、床が濡れていてビックリしたり、イスラム教のお祭り前日に断食をしたので夜中3時から夜の7時まで何も飲まず食わずだったので、心配になったりと文化の違い、宗教の違いを身をもって体験した夏になりました。ニーナーはこれから日本の大学に入って四年間勉強していきます。希望の大学に入って、ニーナーの夢である人のために役立つ仕事ができるように頑張ってもらいたいです。

泉ファミリー

初めてのホストファミリー

私達の家庭に来てくれた子は、リトアニア出身のアスタさん。とても明るく、おしゃべりも上手で、歌やダンスが大好きな女の子。気になる事やわからないことはすぐ聞いてくれ、初めての受け入れで、英語も出来ない私達家族でしたが、日本語が上手な彼女のおかげで、上手くコミュニケーションがとれ、楽しい共同生活を送ることが出来ました。晩ご飯はみんなでバーベキューや手巻き寿司、お好み焼きをして、どれも喜んで食べてくれました。フリーで過ごす二日間は、友だち家族と一緒に水遊びをしたり、浴衣を着て花火大会へ出かけました。前から浴衣を着てみたい!と欲していた様で、とても喜んでくれました。アスタさんからは、リトアニア語での挨拶、リトアニア料理を教えてもらいました。ピーツを使った冷製スープ「ピンクスープ」は色鮮やかでとても美味しかったです。また、リトアニアの写真をたくさん見せてもらったり、家族の話をしたり、お互いの話を毎日たくさんしました。リトアニアの自然豊かな話や海外留学の話、私にとって体験した事のない話を聞くことはとても楽しかったです。日本の文化に興味を持ち、たくさんの人と関わる事を喜んでくれたアスタさん。積極的に日本語を吸収しようとする姿勢、日本語を楽しんでいる様子がとても印象的でした。国が違つと、それぞれの言葉が違い、文化も違つ。言葉でのコミュニケーションを図り、その国の文化も知つていくことで、より言葉がスムーズに理解することが出来るのだと感じました。今回のホストファミリーを通して、リトアニアを始め、海外への興味がより深まりました。また、言葉でのコミュニケーションの大切さを感じたので、日本語だけでなく、英語は出来るようになりたいなと思いました。とても貴重で充実した8日間でした。また機会があれば是非参加したいなと思います。

アスタ(リトアニア)

ありがとう

このホームステイは2つのパートでできているように感じました。それは町民の交流とホストファミリーとともにの生活でした。両方それぞれ違つてそれぞれよかった。町民の皆さんは「私たちの稲美町」を紹介しながらいろいろな日本文化の特徴を見せてくれました。皆さんの暖かい気持ちや熱心な努力はちゃんと伝えられました。ホストファミリーは日程が終わつた後、いつもそばにいてくれた存在でした。何かの問題、悩み必要なことがあつたら、手伝ってくれました。そのうえ、一緒に過ごした時間はとても大事でした。料理作り、花火、出かけ、子供遊び、それでいろいろな話は最後に「これはもう私の家族だ」という気持ちにまで行きました。毎日あつた疲れは前の日の楽しさの証拠でした。稲美町の交流は本当に良かったです。ありがとうございました。



トライやるウィーク!!

6月3日(月)～6月7日(金)の5日間、稲美中学、稲美北中学の生徒5名が協会の仕事体験に来てくれました。みんなはじめは緊張していたけれど、5日間とても仲良くなりましたね。

『トライやる・ウィーク』

<p>《事務仕事》</p> <p>事務仕事は国際交流協会の会員の方にお送りする書類を封筒に入れたりします。地味ですが、その気持ちと前にお社の方の担当にされたと思ってしまうのを防ぐために大切にしたいことが大事だと気付きました。もう一つは世界の国を遠くまで見た事がないので、大きいもの、小さいもの、重いもの、軽いものなど、紙の種類がありました。普段見る事が出来ないのでも貴重な時間になりました。</p> <p>《JICA訪問》</p> <p>JICAとは国際協力機構のことで開発途上国の援助をします。例えば、他国へ技術を教えたり、公共事業を建てるためにお金を貸したりします。僕たちは、海外協力隊に行こうか話を聞きました。その方は、日本語や、スポーツなど色々なことを教えるにバングラデシュへ行きました。最初は言葉が難しかったのですが、通じるととても嬉しかったそうです。</p>	<p>《日本語教室体験》</p> <p>日本語教室は、ベトナムの方、3人と日本語で話して、通じないときもあり、難しかったけど、通じたときは嬉しくて、とても楽しくて、いい思い出になりました。</p> <p>ベトナムの方と目があうと、ずっとなこなこしてくださり、とても良い気持ちになりました。優しい方でした。お互いの国の説明をして自分が知らないことをたくさん教えてくださり、とても勉強になりました。ベトナムの方々は、とても優しく、笑顔で話してくれたので、また絶対会いたいです。</p>	<p>《日程》</p> <p>1日目 事務仕事</p> <p>2日目 JICA訪問</p> <p>3日目 日本語教室体験</p> <p>4日目 わーど作成</p> <p>5日目 姫路城訪問</p>
---	--	--

この5日間とてもいい体験ができ思い出になりました。(真) いろんな人と関わってとても笑顔でコミュニケーションをとることができました。(矢代) 楽しかったです。(幸花 竜輝) どの活動にも参加でき、とても貴重な経験になりました。(高山)

国際理解キッズカレッジ2019

稲美町の小学4年～6年生を対象に全6回の国際理解キッズカレッジ2019が開催されています。

○第1回 6月15日(土) 入校式

県立播磨南高等学校の生徒さん8名、大学生1名、トライやるに来てくれた中学生2人と沢山のボランティアさんが参加して下さった中、小学生15名が5つのグループに分かれて外国のゲームを通じてみんなと仲良くなりました。



○第2回 8月10日(水) 留学生と稲美町の町めぐり

いなみ野の里ホームステイ事業に参加している留学生11名と一緒に、加古大池、高菌寺、コスモホールをバスに乗って見学に行きました。高菌寺では、毎年2月頃に行われる鬼道い式の映像を見せて頂き、お話を聞いたり貴重な体験をさせて頂きました。短い時間でしたが、留学生のお兄さん、お姉さんとお話をしたり、楽しい時間を過ごしました。



○第3回 8月30日(金) JICA関西見学

バスに乗って神戸市にあるJICA関西へ見学に行きました。JICA関西のお話を聞き、館内を見学、また、JICA海外協力隊でブラジルに派遣された大学生のお話も聞きました。昼食は珍しい「タンザニア料理」をおいしく頂き、外国の食文化にも触れることができました。



前田ファミリー

ありがとう サルマ♡

我が家に来ましたサルマは笑顔の素敵などとても礼儀正しい気遣いのできる女の子でした。緊張の中での歓迎会の途中、サルマから話かけてもらい、子ども達もホッと早く打ち解ける事が出来ました。

8月末には帰国してしまうサルマに日本での思い出を作ってもらいたいと思い、行ってみたい所を聞いて、1週間の計画を立てました。神戸のロープウェイ・夜景、神戸モスク、ハーバーランドの夜景、姫路城、大池花火大会へ行きました。食事でも日本の食事をたくさん食べてみたいと言ってくれたので、たこ焼きと一緒に焼いたり、手巻き寿司を焼いたりしました。お寿司は大好きで、エジプトにもあるけれど、とても高価で食べられないという事を教えてくれて、「このお寿司持って帰れる?」と真剣な顔で言っていました。今、エジプトにいるサルマにお寿司を届けてあげたい♡



サルマ(エジプト)

自分のホームステイ

自分のホームステイ体験ではいろいろな気持ちいいなということがあった。本当にこの家族は自分の家族より優しくあった。毎日みんなと一緒に食べたい、映画もいろいろ見た。かんこうもみんないっしょにした。神戸に行って、ぬのびきのロープウェイに乗った。そのあとやきにくを食べた。車で摩耶山にのぼってけしきを見て、とてもきれいだった。最初はちょっとしんぱいしていたということはいないけれど、全体に自分のホームステイ体験はほんとに楽しかった。みんなのことぜんぜんわすれない。パパとママとゆなとゆずといつき、ちゃちゃまるとはよくここあのこといっても気持ちいい思い出になる。

ラムティン(イラン)

ホームステイの感想

このホームステイプログラムは非常に楽しかったです。国に帰る前に日本の家族と住む機会があり、それによって日本に関する知識が深くなり良かったです。宮本家は本当にいい家族でした。お宅もきれいで、おいしいご飯を食べていただきました。日本についていろいろなことを教えて下さり、充実した8日間でした。これからも宮本家との連絡を続けて色々お世話になると思います。この8日間を一生忘れられません。どうもありがとうございました。



宮本ファミリー

ホストファミリーとなって

今までホストファミリーとして受け入れたのは、アメリカ・ブルガリア・インド・ベトナムからの留学生でした。そして今年、イラン国籍のファロヒー・ラムティン君を我家にお迎えしました。当初、宗教上のことや食事について配慮が必要ではなかつたかと心配しましたが、彼は柔軟に対応し、宗教上においても食事においても何等问题なくすぐに家族の一員として溶け込んでくれました。その大きな要因として、彼の父が二十代の時に日本で研修生として、埼玉県で過ごされたことが彼に伝わっていたのだと思います。彼は三歳の時から英語を勉強し大学生の時には日本の商社員の家庭で、子供達に英語を教えていたそうです。日本語の会話が流暢なのは、大学の学習や日本人との触れ合いで獲得したように思われました。食事は、少な目でしたが何でも「おいしい。おいしい。」と喜んで食べてくれました。彼の夢は、日本語の語学力を生かして、外交官になるか日本企業で働きたいようです。聡明で明るく優しい性格で、好感の持てる好青年に、「私達はこの広い世界で、あなたとの出会いは奇跡に近い。」と話し、再会を約し大阪大学へ送り出しました。



“いなみ野の里”の思い出

クイズに挑戦 わーどクイズ

ブルガリアの女性は髪に花を飾ります。では、結婚していない女性はどこに花を飾るでしょうか?

- ①右側
- ②左側
- ③両側につける

答えは最終ページ左下にあります。